

市丸小だより

令和7年11月25日 第13号

「笑顔と感謝」

保護者・地域と市丸小「つなげるつながる」

市丸小学校 校長 守口 多恵子

平和の大切さについて

考えました

21日(金)に、「平和の大切さ・命の大切さをしっかり考えよう」をめあてに、全校平和集会を行いました。5・6年生が修学旅行で訪れた大刀洗平和記念館での学びなどを活かし、平和への思いを発表したり、劇で表現したりしました。4年生までの児童にも、その思いが十分伝わったようです。5年生・6年生のみなさん、本当に貴重な機会をつくってくれてありがとう！

【以下、子ども達の感想の一部抜粋です】

- ・いのちがとてもだいじとおもいました。せんそうはこわいとおもいました。せんそうはぜったいにしてはいけないとおもいました。(1年生)
- ・まちこちゃん、むっちゃんをまもりたかったとおもいます。でもまもれませんでした。こんなせんそうはやめたいとおもいます。(2年生)
- ・いのちのたいせつさ、せんそうがないせかいであってほしいと思いました。5・6年生は、1～4年生にせんそうのこわさを知ってほしいからげきをしたいと思います。これからもせんそうがなく、平和なせかいをつかっていきたいです。(3年生)
- ・5・6年生が平和の大切さについて教えてくれたので、たくさん学習できました。戦争をなくすためには、まずはケンカをしている人がいたら止めたいです。(4年生)
- ・みんなが真剣に聞いてくれてよかったです。戦争のおそろしさ、今の生活の大切さが分かってもらえてよかったです。(5年生)
- ・修学旅行に行ったり、集会の練習をしたりしたことで、全校のみんなに平和の大切さや、戦争のおそろしさを知ってもらいたいという思いでやることができました。(6年生)



★★ 保育園との交流会 ★★

18日(火)に、旭ヶ丘保育園の年長・年中さんと、1・2年生が交流を行いました。的あてや魚釣りなど、手作りの道具でゲーム屋さんを開き、園児さんに優しく接する姿が見られました。とても頼もしかったです。次回は来月、旭ヶ丘保育園に出かけて交流会を行う予定です。



※ 校長室から ※

嬉しい話がありました。朝、交通指導をしている時に、地域の方が「さっき、ある女の子がていねいな挨拶をしてくれた後、『いつも元気ですね。』と言ってくれたんです。嬉しくて涙が出ました…。」と、涙をぬぐいながら教えてくださいました。日頃から「地域の方の見守りやご協力はありがたいですね…。」と話しているところではあります。こんなふうに分かちあう地域の方に声をかけることができたことを嬉しく思います。さっそく当日の「心の放送」で、全校児童にもその話をしたところです。こんな子ども達が増えていくことを願っています。